

臺灣總督府  
臨時情報部

# 部報

昭和三十三年八月一日

臺灣聯合青年團に就て

(臺灣聯合青年團)

國民心身鍛鍊運動實施に就て

(文教局社會課)

地方情報

(州・廳臨時情報部)

海外情報

(臨時情報部)

附錄 事變日誌

第三十三號

昭和三十三年九月二十日第三種郵便物認定  
昭和三十三年八月一日發行  
十一月廿一日發行



身心一よへ鍛  
後銃一よめ固



— 動運鍊鍛身心民國 —

# ●●臺灣聯合青年團に就て●●

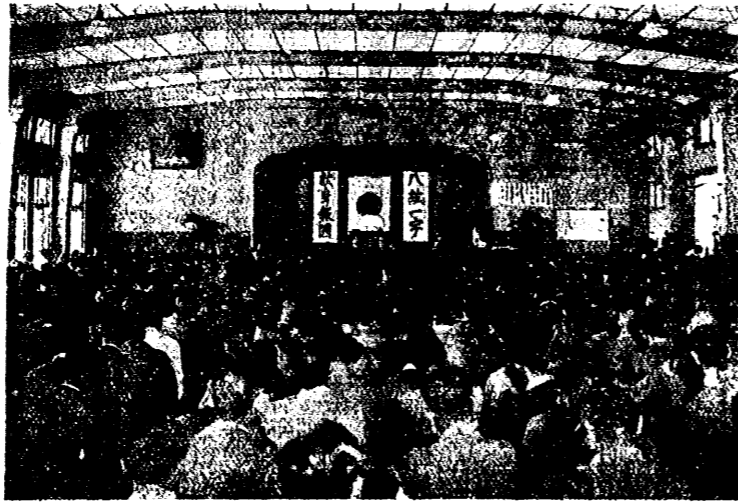
## 臺灣聯合青年團

### 一、本島青年團の發達

本島に於て青年會の設置を見たのは、男子に於ては大正三年花蓮港廳吉野村に、又女子に於ては大正八年臺南市鹽埕處女會が、其の嚆矢である。

爾來地方官民の指導に依つて、青年會の設置は年と共に増加し、大正十五年度に於ける會數は三百五十四、會員數八萬五千六百五十四人の多きに達し、其の内容も亦漸次充實するの機運に向つて來たのであるが、時代の進歩は更に青年團本來の使命達成を期するの必要を認め、總督府に於ては、青年會獎勵の趣旨を以て、大正十二年の紀元節を第一回として、毎年優良團體に對し助成金を交付し、大正十五年末迄に、既に四十一團の多きに達したのである。殊に高雄州枋寮青年會の如きは、大正十二年宮内省から表彰を受けた程であつた。

然しながら、大正時代は本島青年團の發達から見れば、所謂第一期搖籃時代とも稱すべき時代であ



第一回全島青年大會に於ける島田團長の訓示

つた。其の間、前述の如く優良なる團體も多かつたのであるが、中には往々にして、主旨に背き、甚しきに至つては、思想團體の利用するところとなり、團體あるが故に、却つて地方民の思想を悪化するものさへあつた。當時歐洲大戰の後を承けて流れ込んだ幾多の思想中、本島に於けるデモクラシーの思想は民族自決主義と合體して、臺灣思想界に時ならぬ惡氣流を齎したのである。

斯る思想に教化團體が利用されると云ふことは、結局鞏固なる指導精神が確立してゐないことに起因するものであるとし、當局の青年團に關する指導經營方針を要望するの聲は、指導者間に相當叫ばれる様になつて來た。

斯る中大正十五年八月臺中州に於ては、青年團の指導經營に關する準則を發して、其の方針を闡明にし又各州廳に於ても指導大系の確立

を圖り、青年會は内地の例に倣ひ、漸次青年團と、處女會は女子青年團と改稱され、これらは潑刺たる意氣を以て、本島青年團運動の先驅として、多大の貢獻を捧げて來たのである。

斯の如き勢を以て、進展向上しつゝある地方青年團の堅實なる發達を助成し、全島の其の指導統制の確立を圖るの必要に迫られ、昭和五年訓令を發して其の嚮ふべき方途を昭示し、一面之が設置氣運の醸成と各團内容の充實とを圖らんか爲、毎年男女青年團指導者講習會並に中堅青年養成講習會等を開催し、又内地に視察團を派遣する等、専ら之が發達を促進して來たのである。

一方州、廳、郡、市等に於ても、青年團指導者及中心人物の養成を目的とする青年團指導者講習會及青年團幹部講習會等を開催し、亦一般社會の理解を促進せんが爲に、青年團大會、一人一研究發表會、社會奉仕等を行ひ、只管之が進展向上に努めて來た結果、現在單位青年團數一千二百六十五團、團員數實に九萬四千七百七十人の多きに達し、昨年比し團數に於て二百五十五團、團員數に於て五萬餘人の増加を示すの盛況を見るに到つたのである。

斯の如く各地に於ける團數の増加は、雖て聯合青年團設置の氣運を醸成し、郡市聯合青年團は昭和三年、臺中州東勢郡聯合青年團の結團を創めとし、又州、廳聯合青年團は昭和七年、臺北州聯合青年團の結團を以て創めとし、漸次地方に於ける組織體系も整備して來たのである。

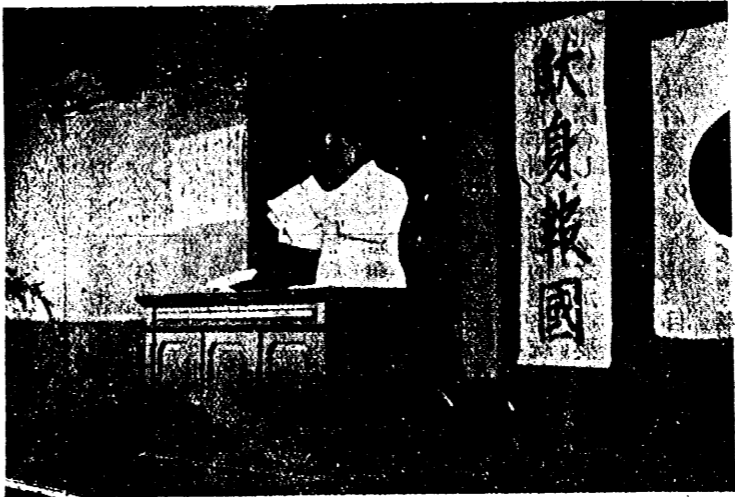
本年三月末に於ける各州廳聯合青年團の狀況を示せば、左の通りである。

各州廳聯合青年團調 (昭和十三年三月末現在)

| 區分   | 團名       | 設立年月日        | 加盟郡市聯合青年團數 |       | 男子青年團數 |        | 女子青年團數 |       | 計      | 昭和十三年度豫算 |
|------|----------|--------------|------------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|----------|
|      |          |              | 團數         | 團員數   | 團數     | 團員數    | 團數     | 團員數   |        |          |
| 臺北州  | 臺北州聯合青年團 | 昭和七年四月二十九日   | 二          | 七五九   | 八      | 三、五五九  | 二二     | 二、二三四 | 七、〇〇三  |          |
| 新竹州  | 新竹州同     | 昭和九年十一月二十二日  | 九          | 八八    | 七      | 六、七五八  | 一六     | 二、三六四 | 二、八〇〇  |          |
| 臺中州  | 臺中州同     | 昭和十一年一月十三日   | 一三         | 一、〇八五 | 九      | 四、〇六六  | 二五     | 一、四九〇 | 六、九一五  |          |
| 臺南州  | 臺南州同     | 昭和七年六月九日     | 二          | 一、九七二 | 一六     | 八、〇五〇  | 三五     | 三、二八一 | 二、一八〇  |          |
| 高雄州  | 高雄州同     | 昭和七年十一月二十二日  | 九          | 九三    | 七      | 五、七二五  | 一七     | 一、四三〇 | 一、七二五  |          |
| 臺東廳  | 臺東廳同     | 昭和十三年五月三十一日  | 三          | 三、〇〇〇 | 二      | 二、〇七二  | 五      | 五〇八   | 一、三二五  |          |
| 花蓮港廳 | 花蓮港廳同    | 昭和十三年六月十一日   | 三          | 一、二四三 | 一      | 一、二七   | 四      | 二、三八〇 | 二、二九〇  |          |
| 澎湖廳  | 澎湖廳同     | 昭和十二年十一月二十八日 | 一          | 五九八   | 二〇     | 五〇一    | 三      | 一、〇九九 | 九八〇    |          |
| 計    |          |              | 六九         | 七、三三六 | 五五     | 三二、八四四 | 一三五    | 九、四七〇 | 二五、三〇八 |          |

斯くして青年團の全島の連絡統制機關の必要は、必然的に唱へらるゝに到つたのであるが、時恰も今次事變に際會し、益々之が必要を痛感したので、去る六月二十日樺山小學校講堂に於て、小林總督古莊軍司令官、生駒大日本聯合青年團常任理事を始め、多數官民有志の臨席を得、全島青年團代表者約一千三百名參集のもとに、目度茲に臺灣聯合青年團の結成を見たのである。

二、臺灣聯合青年團設立趣旨

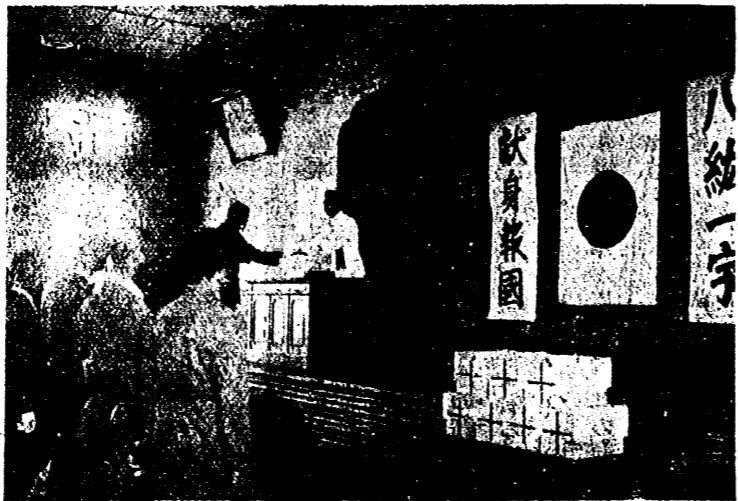


辭告督總るけ於に式國結團年青合聯臺

今や帝國ハ支那事變ヲ契機トシテ、一大轉換  
機ニ際會シ、官民一致凡ユル角度ヨリ、國策ノ  
遂行ニ邁進シツツアリ、即チ青年教育ニ於テ  
モ、從來ノ青年學校ヲ義務制タラシムルノミナ  
ラズ、青年團ニ對シテモ修養的團體ヨリ、更ニ  
社會ヘ乘リ出シ、勤勞奉仕ヲ實施シテ之ニヨリ  
愛國ノ精神ヲ益々旺盛ナラシメンコトヲ期スル  
ニ至レリ。

薩ツテ本島ニ於ケル青年團教育ヲ觀ルニ、當  
局ノ指導ト團員各自ノ自覺トニ依リ、極メテ堅  
實ナル發達ヲ致シ、特ニ昭和五年臺灣青年團訓  
令ヲ發シテ其ノ嚮フベキ方途ヲ昭示シテ以來、  
劃期的進展ヲ遂ゲ其ノ設置ハ全島ニ普ク、地方  
ニ於ケル組織體系モ亦整備スルニ至レリ。

殊ニ今次事變勃發以來青年銃後ノ奉仕ハ洵ニ  
目醒シク、其ノ間幾多感激スベキ事例ノ鈔カラ  
ザルハ、青年教育上洵ニ喜バンキ現象ナリ。



式彰表者勞功團年青

然リト雖モ現下我國ノ青年ニ期待スルトモロ  
ニ照シ之ヲ觀ルトキハ、日本精神體得ノ程度ニ  
於テ、國語常用ノ實際ニ於テ、又舊慣ノ改善ニ  
於テ皇國民トシテノ教養ハ、全ク今後ニ於ケル  
青年ノ奮起活動ニ俟ツベキ事項極メテ多シ。

是ニ各單位青年團ノ内容ヲ仔細ニ檢討スル  
ニ、之又幾多改善努力ヲ要スベキ事項尠カラズ  
爲ニ各地ニ於ケル青年團ハ動モスレバ盛衰アリ  
テ、其ノ進歩發達ノ狀況一樣ナラザルモノアル  
ハ甚ダ遺憾トスルトコロナリ。

サレバ此等全島青年團事業ヲ促進シ、青年團  
相互ノ連絡提携ヲ圖リ、其ノ健實ナル發達ヲ期  
スルハ本島青年團ノ現狀ヨリ觀テ喫緊ノ要務ナ  
ルヲ痛感ス。

依ツテ茲ニ臺灣聯合青年團ヲ設置シ、以テ本  
島ニ於ケル青年團運動ノ健全ナル發達ヲ期セン  
トス。

次に臺灣聯合青年團の團則を要約すれば、次の通りである。  
一、本團は全島青年團事業を促進し、青年團相互の聯絡提携を圖り、其の堅實なる進歩發達を期するを以て目的とする。

二、本團は州廳單位の聯合青年團を以て組織する。

三、本團は總務長官を總裁に推戴し、役員としては團長一名、副團長一名、評議員若干名、理事若干名、幹事一名となつてゐる。

而して團長には文教局長を、副團長には社會課長を推薦し、評議員は總裁之を委囑し、理事は團長之を委囑し、幹事は團長之を指名することになつてゐる。

### 三、臺灣聯合青年團事業計畫

#### (一) 青年團の擴大強化

本島五百萬島民をして、速に忠良なる皇國民たらしむることは、統治の根本方針であつて、教育教化事業は擧げて、之が貫徹に邁進しつゝあることは言ふまでもないが、其の實效を速進する爲には、先以て男女青年層を指導誘掖して、其の奮起活動を期待することが、最も効果的であり且つ妥當な方策と謂ふべきである。

故に本島皇民化運動の基調をなす青年團の擴大強化に關しては、従前から叫ばれ、各地に於て相當實績を收めつゝあつたのであるが、特に今次事變勃發以來本運動促進の氣運は澎湃として漲り、中に

は入團期間を二十五歳乃至三十歳迄延長してゐるところもあり、更に初等教育修了者以外の國語講習所修了者や、未教育男女青年層をも加へて訓練しつゝある個所もあるのである。

斯の如き勢を以て増加しつゝある團員に對し、將來最も重要な問題は、其の原動力をなす優秀なる指導者の養成と、青年團の組織的系統的、訓練方法を確立することである。この點に關しては各地方に於ても青年團指導者養成講習會を開催するとか、或は青年團の内容の整備充實に努力を拂ひつゝあるのであるが、初等教育修了者に對してさへも、年齢に於て、學力の程度に於て、環境に於て、其の差異甚しく、之が指導の徹底を圖るは容易ならざる問題であるのに、更に國語講習所修了者や、未教育者をも加入せしめる場合、其の困難は一層加重され、従つて之が指導の徹底を缺き、統制を亂すが如



第一回全島聯合青年團大會に於ける中州内埔青年團の劇

きことあつてはならないと思ふ。

本團に於ては之等の實情に鑑み、青年團の設置並に團員の増加を圖ると共に、青年各層に亘り、之が指導の徹底を期する爲、各方面の調査研究を遂げ、以て地方青年團の健全なる發達に寄與すべく計畫を進めてゐる。

## (二) 勤勞報國運動

國民精神總動員の趣旨に基き、昨年八月帝國政府が提唱して勤勞奉仕運動は、唯に出征軍人家族並遺家族に對する勤勞奉仕のみでなく、今や新に勤勞報國運動なる姿を以て、我國青年教育上、重要な地歩を占めるやうになつた。

抑も勤勞報國運動は、愛國精神の涵養を基調とする、滅私奉公の犠牲的精神並協同的精神を團體生活の上に將又個人生活の上に顯現せしめ、兼ねて青年體位の向上と勤勞愛好の精神とを育成せんとするもので、内地各府縣に於ては、或は祖國振興隊と稱し、或は青年黎明運動と稱し、或は青年挺身隊と稱し、各々地方の實情に即應した計畫を樹立し、其の實績を收めんことを期してゐる。

翻つて本島青年の實情を觀るに日本精神體得の程度に於て、愛國心の深度に於て、眞の帝國臣民としての教養は全く今後に於ける青年の自覺と實行とに俟つべき事項が極めて多いのである。本運動に就ては、今春地方長官會議に提議して以來、各地方に於てはそれぞれ計畫を樹立し、着々實績を收めつつあることは、洵に喜ばしい現象であるが、之が唯單に一時的運動に止まることなく、組織的且永續的ならしむるやうな方策を樹立するの必要を痛感してゐる。

## (三) 青年體位の向上

青年體位の向上は、直接國家の隆昌に影響することは云ふまでもない。殊に長期戰體制下に於て、強力なる戦闘員の供給、生産力の擴充に要する労働力の供給等、人的資源の涵養は一日も忽にすべからざる重要問題である。それ故、政府に於ては新に厚生省を設置して、國民體位の向上に各種施設を講じ、目的達成に萬全を期せんとしてゐるのである。

本島に於ける青年大衆の體力を見るに内地の青年に較べて著しく低下してゐるので速に良方策樹立の必要を痛感してゐるのである。

## (四) 青年創作品並副業品及一人一研究展覽會

青年團員は地方に於ける生産擴充の原動力である。故に當局に於ては青年團の産業的修養については、常に意を用ひ、此の方面の指導に努力して來たのであるが、其の結果青年團員間に於ける一人一研究の熱意は、極めて旺盛となり、近時之等青年の手に依つて工夫、改善された事項中、地方産業に貢献しつつあるものが少くない。

之等地方青年團及團員が多年に亘り苦心努力した創作品及副業品並一人一研究の資料を全島から蒐集し、過去に於ける研鑽と練磨とを一堂に蒐め、其の苦心と努力との跡を廣く世に向ひ、一は社會の認識を深め、一は團員の共勵に資し、一層地方産業の振興と郷土生活の充實とに貢献せしめたいと思ふ。

## (五) 全島青年團大會

全島各地に於て修養研鑽に努め、社會教化の第一線に活動しつゝある青年團代表者の參集を求め、互に不斷の活動狀況を披瀝せしめて共勵の實を擧げ、併せて全島青年團の連絡統制を圖り、其の進むべき方途を昭示し、以て之が健實なる發達に寄與せんとするものである。

(六) 全島青年團體大會

國家興隆の推進力として、躍進日本の將來を双肩に擔ふ青年の體力を向上し、質實剛健なる氣風を涵養し、青年の旺盛なる團結心の養成に努め、國家永遠の大計に即應する目的資源の育成を圖る目的を以て、毎年秋期體育大會を開催すべく計畫を進めてゐる。

(七) 全島青年團音樂大會

本島の民衆娛樂の中心とも云ふべき舊來の演劇講古は、何れも支那の故事歴史世話を取扱つたもので、國民精神涵養上裨益するところが少く、其の多くは喧噪と頹廢とに墮し、大衆の情操陶冶に役立つ點が極めて少い。

故に本島皇民化の一方策として地方青年男女に對し、高尚優雅なる日本趣味を體得せしめ、之等青年を通じて民衆娛樂の改善を圖り以て社會風潮の一新に資せんとするものである。

(八) 青年團報の發行

全島青年團の指導統制を圖り、相互の連絡提携に資し、指導者に對しては、青年團に關する識見の向上と信念の確立とを圖り、内外青年團運動の紹介及優良青年團並優良團員を紹介して共勵に資し、團員に對しては其の教養を高め情操を陶冶し、皇國精神の涵養と生活改善とを指導し、産業的修養に

資する爲の一人一研究を紹介し、時局に對しては正確なる認識を與へ、以て本島青年團の健全なる發達を圖る爲、團報を發行する。

(九) 産業研究團及一人一研究獎勵

青年の創造心を啓培して、其の産業生活を發展擴充せしめ、地方産業の興隆に資するは、青年團指導上最も重要な事項である。殊に本島の如く産業の凡ゆる部に於て、研究工夫の餘地を有し、農産加工品に於て、化學工業に於て、漁村山林の開發に於て、今後に残された事項に極めて多い。

此等の事項に關し多年苦心努力を重ね、成績顯著な青年團及青年團員を以て組織してゐる産業研究團體並一人一研究に努力してゐる個人に對し、獎勵方法を講じ、益々青年團の産業的修養を助成したと思ふ。

(一〇) 其の他

多年本島青年團の指導經營に苦心努力した指導者の功績を表彰し、一は指導者の勞苦に酬ひ、一は青年團關係者の獎勵に資する外、指導者の青年團指導經營に關する識見の向上と、信念の確立を圖る爲の指導者養成講習會や、青年團の中堅となつて活動しつゝある幹部に對し、中堅青年養成講習會や、全島青年團の指導經營の統制と相互共勵の爲の青年團現地研究會や、各州廳郡市等で開催する講習會、講演會等に對し、希望に應じて、教育、産業、技藝等、それら専門講師を依頼派遣する等の計畫をも進めてゐる。



# 國民心身鍛鍊運動實施に就て

文 教 局 社 會 課

時局下の本島に於ては例年八月のラヂオ體操會を擴張して本年は特に國民體位の向上、勤勞精神の涵養を目的として八月一日より二十日間國民心身鍛鍊運動を實施することとなつた。

- 一、趣旨——國民精神總動員の趣旨に則り心身を鍛鍊して旺盛なる精神力を強靱なる身體を育成し以て銃後國民の責務を全うせんす。
- 二、名稱——國民心身鍛鍊運動。
- 三、期間——自八月一日 至八月二十日
- 四、實行要目——心身鍛鍊の方法は本年度は主として左の諸項に重點を置くものとす。
  - 一、ラヂオ體操の普及獎勵
  - 二、八月八日より十日間に亘り實施せらるる、全島ラヂオ體操會には全島民の參加を獎勵し會期中のみならず其の後引續き之が恒久的實行を勵致せしむる様指導すること
  - 三、尙之に關聯して早起會の普及を圖り早起を獎勵すること
  - 四、徒歩の獎勵

- 一、官廳、銀行、會社、工場等の勤務者に徒歩運動を獎勵すること
- 二、學校、青年團等に於て遠足、登山、長距離行軍等を行ふこと
- 三、集團的勤勞作業の獎勵
  - イ、作業は統制ある組織の下に勤勞精神の涵養、體力向上を目的として之を行ふこと
  - ロ、作業は土地の状況に應じ神社境内及陸海軍基地の清掃、軍需品の供出、應召家族の努力援助開墾、植林、埋立、河川、堤防の修築築碇、磯掃除、運動場、小公園、防空施設等の設置、道路の修繕開設等適當なるものを行ふこと
  - 四、武道水泳の獎勵
    - イ、學校、道場等に於て一般の參加を求め柔道、剣道、弓道、薙刀等の土用稽古を實施すること
    - ロ、海、河川、湖沼等を利用して水泳施設の擴充を圖るに共に公私の施設に係る水泳プール等を積極的に利用せしむること



州・廳臨時情報部

## 銃後の活動

新竹州臨時情報部

### 慰靈祭

帝國在郷軍人會新竹分會に於ては七月十三日午後三時より公會堂に於て分會出身左記戦死者の合同初盆法要を

實施せり。

### 戦死者

|       |      |      |        |
|-------|------|------|--------|
| 歩兵中尉故 | 藤山才二 | 歩軍曹  | 故大山信一郎 |
| 同 軍曹  | 西川由宗 | 同 上  | 岡本時雄   |
| 同 伍長  | 堺 忠敬 | 同 上  | 又木兼藏   |
| 同 右   | 伊藤武男 | 同 上  | 山口 勉   |
| 同 上等兵 | 中山平治 | 同 上  | 脇尾敷桂治  |
| 同 右   | 横山正直 | 同 伍長 | 松永静雄   |
| 同 右   | 西松清次 |      |        |



(竹新) 場式祭聖慰

第二回 綑帶 献納

愛國婦人會新竹支部では、綑帶、三角巾の献納をせしが、七月十七日より三日間、愛國婦人會館及び旭町集會所の二箇所にて赤堀支部長を初め、三會員一箇所、に百五十名宛集り三角巾二千枚、綑帶三千五百五十箇の作製に努力奉仕をなし同支部より二十日第二回献納の手續を執れり。

支那事變に

關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 勅語奉讀式及内閣告諭及

竹田宮大妃殿下御高徳の傳達

昭和十三年七月八日午前九時より全職員を會議室に招

集し支那事變一周年記念日たる七月七日内閣總理大臣を宮中に召され下賜せられたる勅語並に陸海軍人に賜りたる勅語の奉讀式を舉行し續いて同日發せられたる内閣告諭の傳達式を舉げ終つて皇后陛下の思召を以て今回本島に御差遣あらせられたる竹田宮大妃殿下を迎へ奉りて感得せる御高徳を傳へ併せて今や事變も第三段階に入り益々國民の奮起緊張を要する秋統後國民は皇軍に對する感謝の念を喚起熾烈ならしむるに愈々志氣を振作し各人の職分に格循し舉州一致粉骨碎身滅私奉公誓つて統後の守りを固くし以て聖恩に應へ奉るに共に大妃殿下の思召に副ひ奉る様訓示する所ありたり。

二 皇后陛下御言葉の御趣旨

竹田宮大妃殿下御言葉の要旨

竝に小林總督奉答の辭傳達

皇后陛下に於かせられては今次事變の爲の傷痍軍人を深く憐ませ給ひ思召を以て本島には竹田宮大妃殿下を

御差遣あらせられ傷病兵の慰問並に統後狀況を御視察せしめられ給ひしが六月二十八日總督府に御成の際御傳達の總督に賜りたる皇后陛下御言葉の御趣旨竹田宮大妃殿下御言葉の要旨並に小林總督奉答の辭昭和十三年七月十二日奉總秘第六九號臺灣總督秘書官進牒に基き管内一般に周知せしむる所ありたり。

三 臺南州報國勳勞奉仕隊

結成式論に奉仕作業の實施

臺南州廳及同附屬團體職員は他に率先示範すべく義に制定せる臺南州報國勳勞奉仕隊要綱に準據し、昭和十三年七月二十四日の曉午前五時川村隊長、鶴内務、西村警務各中隊長以下隊員七百四十餘名は臺南神社神苑に參集、先づ修祓の後松本宮司の祝詞奏上、川村隊長の玉串奉呈、隊旗の授與、信條の合唱をなし更に隊長より激勵的訓示あり最嚴肅裡に結成式を修了、夫れより隊旗を先頭に内務、警務中隊の順に隊伍を編成し作業場たる臺南飛行場に向ひ行進歌(臺南州歌、臺南州青年歌)を高

唱しつ、堂々行進を続け同六時五十分到着、隊旗の下に整列し宮城遙拜、信條合唱の後直に各小隊毎に受持區域の草刈に従事し同八時豫定の作業を終了再び隊旗の下に整列の上川村隊長の發聲にて大日本帝國萬歳を三唱更に隊伍を整へ歸路に着き同九時歸南解散せるが七百四十餘名の大集團を以てせる本勤勞奉仕作業も隊員克く勤勞精神を發揮し協心戮力遺憾なく集團勤勞の實を擧げ献身奉仕の誠を效さしむる所ありたり。

#### 四 戦死者の弔問及戦傷者の慰問竝に英靈堂の参拜

昭和十三年七月十五日午後四時川村知事は總督代理として臺南陸軍病院に十四日歸還せる名譽の戦傷者を見舞總督よりの慰問金を傳達せり。  
尙知事よりも別に金一封を贈呈慰籍する所ありたり、又知事は名譽の戦死者内田准尉留守宅を弔問し引續き第二聯隊内に設けられたる英靈堂に参拜英靈を弔ふ所ありたり。

年度特に作付奨励に努めたる黄麻栽培面積は一躍〇〇〇〇〇甲に達し成育亦頗る良好なり。

#### 七 國民精神總動員映畫巡回映寫

國民精神總動員映畫巡回映寫第二十二回を實施せり。

#### 八 戦死者遺族の弔問

昭和十三年七月二十日午後一時半より川村知事は名譽の戦死者西軍曹以下五名の遺族を弔問する所ありたり。

### 銃後の花蓮港

花蓮港臨時情報部

#### 燃上る愛國心

玉里街三笠在住阮阿雲君は杉原産業株式會社苦力請負業者として従事中の處七月七日支那事變一周年記念日に

#### 五 國庫債券の應募指導

第三回支那事變國債は昭和十三年六月十五日各郵便局より一齊に賣出されたるが州民銃後の燃ゆるが如き愛國の熱誠は各郵便局共午前中に悉く賣盡され遺憾なく舉州一致報國の赤誠を披瀝する所ありたり、尙都市別應募狀況左の如し。

#### 第三回國庫債券應募狀況調

| 市郡別 | 應募人員 | 金額  | 市郡別 | 應募人員 | 金額   |
|-----|------|-----|-----|------|------|
| 臺南市 | 三    | 八二五 | 嘉義市 | 三    | 五〇〇  |
| 嘉義市 | 三    | 六〇〇 | 斗六郡 | 三    | 五〇〇  |
| 新豐郡 | 三    | 三〇〇 | 虎尾郡 | 三    | 四〇〇  |
| 新化郡 | 三    | 三〇〇 | 北港郡 | 三    | 二〇〇  |
| 曾文郡 | 一    | 一〇〇 | 東石郡 | 三    | 一〇〇  |
| 北門郡 | 一    | 六〇〇 | 計   | 三    | 二二〇〇 |
| 新營郡 | 三    | 三三〇 | 歩合  | 三    | 六二五  |

#### 六 黄麻作付の奨励

國策に準據し本島の經濟的使命の達成に貢献すべく本

當り自己使用の苦力十五名に對し現地に於ける皇軍將兵の活動狀況並銃後國民の覺悟等に關し續々説々所ありたるが一同時局の重大性を認識し衆議一決翌日より出勞時間を一時間繰上げ二十日間に得たる利益金六圓二十錢に自己の四圓を加へ十四圓二十錢を受持派出所に持參國防獻金の手續を依頼せり。

### 銃後の澎湖

澎湖廳臨時情報部

#### 一 支那事變勃發一周年記念行事

七月七日支那事變勃發一周年記念に當り聖戰の意義及時局の重大性を更に深く認識し銃後の熱誠、堅忍持久の精神を増進し且つ物心兩方面の總動員態勢を具現し以て舉國一致時艱の克服に邁進するの決意を益々昂揚するに共に出征將兵の勞苦を偲ばんとする目的の下に廳下各街庄に於て夫々記念行事實施したるも馬公街に於ける實施

行事左の如し。

1. 講演會

七月六日午後八時三十分より馬公々會堂に於て山脇聯隊長の「支那事變に對する國民の覺悟」の演題の下に講演ありたり。

2. 勤勞奉仕

勤勞奉仕として市街の不潔箇所、道路、廣場等の修繕整頓をなすこと、し七月六日馬公自力振興會に於ては市街全般に亘り奉仕し學校職員、生徒、兒童は夫々清掃作業に従事せり。

澎湖神社

馬公第二公學校

陸軍墓地

馬公第一公學校

松島記念碑

馬公小學校

馬公々會堂

同

各記念碑

水産學校

松島艦慰靈塔

風櫃尾分教場

3. 武運長久祈願祭並慰靈祭

七月七日午前九時より澎湖公園に於て大妻要塞司令

二〇

官以下軍隊將兵、官公署職員、學校生徒兒童及各戸一人以上列席武運長久祈願祭並慰靈祭を舉行せり。

4. 黙禱

七月七日正午より一分間各官公署、會社、學校其の他街民全部は黙禱をなせり。

5. 時局生活の實踐強化

七月七日時局生活實踐強化の爲各家庭に於て一菜主義を勵行せり。

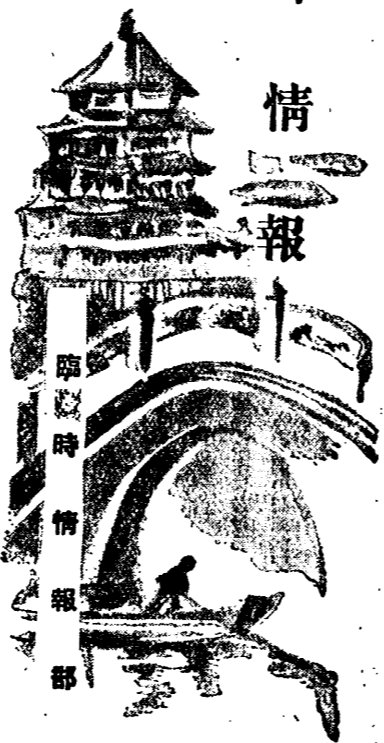
6. 一戸一品獻納

七月七日在郷軍人分會を主とし各區總代青年團員學校生徒兒童は各家庭を訪問し古金物類其の他の不用品を一戸一品獻納せしめたり。

二 廈門攻略部隊慰問

本島一衣帯水の間にある對岸廈門の占領は廳民の快心事とするところなれば澎湖廳統帥聯盟に於ては廈門攻略部隊慰問の爲廈門團を組織し慰問品を携行現地に派遣すること、なり七月九日夜當地を出發せり。

海外情報



新嘉坡だより

一、その排日狀況と在留同胞の苦衷

新嘉坡より齎らせる情報に依れば、事變以來、財政困難の支那中央當局は同地方を以て戰費捻出の財源地と認め、資金募集の手段として極力排日熱を煽り立てた爲、排日思想は上下各階級に根強く浸透し、且又英國當局の手心も加はり益々火の手をあげ、一時は邦人に對する暴行事件すら惹起した程で、日貨排斥も依然執拗に行はれ

て居り、邦人商社の蒙れる打撃も甚大なもので中には倒産の危険に瀕せるものもある状態である。而してハ之は住民の多くが半信半疑ながらも支那側の虚構宣傳に曳きずられて抗日を叫んでゐる爲であつて、一部支那人智識階級が正確なる「ニュース」を渴望してゐるに抱らず、英字紙も亦支那側の宣傳記事を轉載してゐる有様で、英字紙によつては此の不滿を満たす事が出來ず、同地在留邦人にまつては事毎に不利益な事ばかりである。従つて取戦の真相を明瞭に認識せしめ抗日の無益を覺らしむる

三一

には是非とも正確公平な、ニュースの供給が必要とされてゐる。

尙、從來日本船舶に對し身邊危険の爲荷役従事を避け、最近に於て華僑等は、支那側宣傳のデマ暴落に伴ひ、最近に至り稍公然と日本船舶の諸作業に従事するに至り、又同地華僑中政治的並に思想的に新政府支持者、蔣政權支持者との兩派に分れ對立傾向を醸成しつゝ、ありてその成行は注目せられつゝ、ある。

#### 二、支那人避難民の窮乏

新加坡市衛生局長ハンター氏の報する處に依れば、今日支那事變による支那人避難民は約七萬人に達し、其のために家庭は益々拂底した、市街には其故馬來語一つも話すことの出来ぬ支那人が漸次増加して來た、其れに加へゴム、錫の不況のために失業者氾濫し或る家には一軒に百人位雑居し、豚にも等しき生活を續けてゐる支那人もある。

#### 三、國府運搬の窮狀切迫と支那法幣の暴落

國民政府の敗戦に伴ふ政治的經濟的崩壞の兆は最近益々顯著となり、殊に武器供給の代償として香港から銀が續々積出されるに及び、最早經濟力消耗の極端は時日の問題と觀られて居り、漢口政府が分散して奥地遁入の問題もなれば完全に命脈を絶たれるに至るであらう。茲に於て最近の當地支那法幣暴落の経路を辿れば如實にその反映を示して居る。即ち徐州總攻撃開始の直前たる五月二日は四十九弗であつたのが、陥落後は四十一弗に暴落、更に漢口攻略戦の展開と同時に三十三弗に轉落したのである。漢口が陥れば二十弗臺の維持も覺束なくなるのではないかと豫想されてゐる。

#### 四、英領馬來に於ける

##### 支那側の狂氣的デマ報道と最近の情勢

廈門攻略續いて徐州陥落の赫々たる戦果の報に、英領馬來に於いては、久しく不遇を啣つた在留邦人の眉宇に

も晴明の色が深ひ始め、同時に英字新聞紙上にも逐次正確な戦況ニュースが勢力を占むるやうになり、他國人も今更の如く認識を改めるものが輩出するに至つた。が一方、過般來狂氣的なデマ報道を續けて來た支那新聞の周章狼狽振りは實に慘澹たるもので、自ら播いた虚構の種に施す術もなく局面の糊塗に汲々たる有様である。支那新聞は徐州、廈門の失陥を如何にして報道したか、今茲に各陥落三日目(二日間は陥落を否定)より三日間の代表的デマ記事を抄録すれば

#### 一、徐州の場合

- a. 我軍(支那軍)命を奉じて安全に徐州を撤退、某地に集結して次期會戦に備ふ
  - b. 徐州を包圍し敵に大打撃を與へ隴海線は已に我軍手中にあり、徐州克服は遠からず
  - c. 我軍徐州入城(赤刷大見出のみにて記事皆無)
- #### 二、廈門の場合
- a. 敵陸戦隊六百名、海空軍の掩護の下に廈門島へ上陸、我軍勇戦殺敵二百名尙殘敵掃蕩中

- b. 敵増援隊上陸前我軍安全に撤退し對岸より全島の敵軍へ砲火集中

- c. 無數の戎克に分乘して我軍廈門島へ上陸、敵を包圍攻撃中にて奪還確實なり。

以上二つの場合を照合すれば判然する通り常套的虚構宣傳の醜惡さを暴落して居り、更に又之を關連して過去の幾多の場合に於ても大同小異の敗戦糊塗を重ね來つた事が想起されよう。即ち如何なる場合にも重要據點の失陥後數日間は之を否定し、然る後命令に依る安全なる撤退を報じ、更に又、丁寧にも一旦其地の奪還を主張し、それを最後として戦況報道の焦點を他へ轉じた揚句に、愈々本音を吐いて××失陥後の戦局は××××失陥の影響を及ぼさず。豫定の行動に過ぎざるものにして最後に影響を及ぼさず。豫定の行動に過ぎざるものにして最後の勝利は必ず我にあり、等々臆面もなく放言しては常に敗戦の結果を有耶無耶に葬つて了ふのである。

次に廈門攻略が同地に及ぼした影響を見るに、同地華僑に與へた衝動は可なりなもので、之が爲最近稍緩和の氣配にあつた排日貨は逆轉して再び悪化せり傳へられ

てゐるが、既に當地華僑抗日陣營の破綻を隨所に露出してゐる今日では左程問題になる事もあるまいと見られてゐる。尙同地では當局はしばしば布告を出し結社彈壓等の取締りを嚴重にしてゐるので、抗日テロの如き不祥事は殆んど後を絶ち、僅かにメーデーのデモに於てその片鱗を示したに過ぎず、難民救済基金募集委員會も往時の勢ひを喪失し不評が募るばかりの状況である。

尙、支那人避難民入國問題に對しても、華僑識者間には漸次反對の聲が高まり、事變以來既に數多の避難民が入國して居り、而も嶺山其他に於ける失業者が氾濫せる際、入國制限の緩和は生活費の昇騰及び借家難が加重され容易ならぬ事態を惹起するであらうと、以て反省を促す者が多いのである。

馬來貿易は依然として衰退一路を辿り、世界的不況を反映してゐるが、同地物産市況もその影響に依り底無しの不振状態にあり、此の上何が起れば一層それに拍車をかけるかもしれないし、而も歐洲の風雲如何によつてはその影響も少なからずして關心が非常に高まつて居る。

最近皇軍は武漢三鎮への大進撃を開始してゐるのであるが、湖北會戰を豪語する支那側も隴海線一帶に殲滅的慘敗を喫した今日ではその抵抗力も推して知るべきであり、近き將來に於て漢口陥落成れば、同地排日貨も好轉を齎らすに至るであらうと我が在南同胞は觀測してゐる。然し又一面に於て、事茲に至つては南支殊に廣東の如きを其儘放置するのは一抹の不安がなくもなでであるとする向もあるやうである。

### 蘭印政府

#### 支那公債の發賣を禁止す

最近爪哇在留華僑間に「自由公債を買へ」のチェインレターが流行し出し、近時一向賣行芳しからざる公債の賣却に躍起の活動を爲してゐたが、今般蘭印政府に於ては到底償還の當てなしの理由を以て此の公債の發賣を禁止する事となつた。

### マニラ在留邦人の皇軍慰問發送 總數五千九百九十二に達す

マニラ日本人會所庶務の皇軍慰問發送集は在留邦人間に異常な反響を喚起し總數五千九百九十二袋に達したので十八日の賀茂丸三十一日マニラ出帆のシカゴ丸で外務省宛送出した、尙邦人小學兒童の集めた銀紙三百疋もシカゴ丸で送られた。

### スターリン政權の危機

#### 張鼓峰不法占據にからむソ聯の内紛

#### ゲ・ベ・ウと赤軍の暗闘對立益々深刻化する

過般來、ソ聯邦に於ける肅清工作はいよゝ峻烈を極め、遂にリュシコフ大將脱出事件ブリュツヘル元帥莫斯科召喚事件等を惹起せしめ世界的センセーションを捲き起したが、今又張鼓峰不法占據事件勃發するに及んで益々その内情を暴露しスターリン政策の失敗は掩ふべくもなくソ聯の革命は不可避まで現實に叫ばれるに到つた。

即ち、七月十二日ソ聯極東軍十二名が不法にも而も計畫的に滿ソ國境の要點滿洲嶺張鼓峰を占據し軍事工事を開始した事に端を發したソ滿國境紛争問題は、我が方の局地的解決希望にも抱はらず、一時は日ソ險惡をさへ思はしめたが、最近に到り漸くその真相が判然するに致つた。

傳ふる所に依るに、この問題は、以前からスターリンより莫斯科召喚の命令を受けてゐた極東戰線司令官ブリュツヘル元帥がその召喚命令を恐れて故意に國境紛争を起し、事態切迫せる爲國境を離れる事が出来ないとの理由を作成したもの云はれてゐる。

更に又、赤軍とゲ・ベ・ウとの對立的關係も益々深刻化し、ゲ・ベ・ウが國外逃亡阻止の爲國境の警備を愈々嚴重にしたのに對し、赤軍は極めて冷静で寧ろゲ・ベ・ウ側を嘲笑するかの如き態度を示してゐることも云はれる。

之らの事情に就き、リュシコフ大將の語る所によれば、ソ聯の間諜組織は最近までは相當よく活動してゐたが、エーシヨフが内務人民委員に就任して以來極東のソ聯

した」。

「漢口に来てもう十七年にもなるが

こんな不自由は始めてだ」

一外人は語る

最近の情報によるに、漢口は各地から流れ込んだ避難民に雑多な服装の軍隊まで大混亂を呈して居り、物資は不足し物價は騰る一方で食料品の缺乏は特に甚しいこのことであるが、之を裏書するものとして、漢口の海軍食堂所有主ビルは揚子江警備隊従軍僧に次の如く語つた。

「私は漢口に来てもう十七年にもなるが、こんな不自由は始めての事である。最初三週間さいふものはビールをたんまり飲んで頂く事が出来たが、この一月の間さいふものはチツトも無いのである。ウイスキーは此處に二本彼處に四本位はあるかも知れないが、之は漢口へ運ぶのが困難さいふよりは、寧ろ販賣人が暴利獲得の取締を受けてゐるからである。」

因に、ビルは大つた親しみのある男で、二十年前に海軍を退き東洋を旅行し遂に漢口に落付いて酒場を開き現

間諜組織は肅清者に對する肅清の恐怖に脅やかされて全く紊亂の極に達して居り、更にリトヴィノフ外務人民委員は今や完全に孤立しソヴェット人民の信頼を失つてゐるこのことである。又彼リユシコフ大將はスターリン、ウオシロフ、リエツヘルの三人の唾み合を指摘して、ソ聯内に革命の起ることは不可避だこまで言明してゐる。

かくの如く、ソ聯内は非常に混亂の状態にあり、意外に反スターリン熱の旺盛なることは疑ふべくもなく、今後事態は如何に發展するか未だ豫測は許されないが、何れにせよ狂人的スターリン政策は世界各國の非難の的であり、それが崩壊はむしろ當然なりと見られてゐる。

### 心臓の強い支那軍當局

支那軍のデマ宣傳の上手なこゝ、心臓の強いこゝは世間周知のことであり、列國も今更ながら呆れ果て、ゐるのであるが、此度の「九江遂に陥落せり」云ふ歴然たる事實に對しても尙こりずに次の如く云つてゐる。

「軍神「マルス」も九江の防壁獅子山の堡壘を遂に見放

在では米國水兵の宿泊を經營してゐる。

### 目に見えるやうな

#### 漢口市民の狼狽振り

漢口よりの情報に依れば、連日に亘る我が空軍の猛襲に漢口市民は戦々兢兢々空襲の度毎に多數の市民はごつご安全地帯たるフランス租界に雪崩込み大混亂を呈してゐるが、漢口駐在フランス領事ブロンドー氏は十九日支那紙を通じて空襲警報の發せられてゐる間通行證を有せざる市民はフランス租界内に入るを禁止する旨發表し、支那側にセンチションを捲起してゐる。尙フランス領事館當局では將來必要な場合フランス租界の入口鐵門を閉鎖するこゝある旨附言してゐる。

「我こゝにあり」と

### 日本語で降参した敵の海軍大尉

先般、我が勇猛果敢な陸軍部隊が揚子江岸馬當鎮要塞の對岸に敵前上陸した際、敵百七十名を捕虜にしたが、

此の捕虜の中に、逃げ遅れて一時川岸の葦の中に隠れてゐたもの、まごごしてゐてはやられると思つて、「私はこゝに居ります」日本語で怒鳴つて我が軍に降参した支那海軍大尉がある。此の大尉は馬當鎮要塞の作戰參謀をしてゐたもので、次のやうに語つた。

「此の附近の要塞は日本軍の進撃を怖れて急に造つたので、軍艦から大砲をばつして据ゑたのが多い。漢口の市民は、日本飛行機は決して一般の民家には爆彈を落さないで安心してゐる。そして日本の飛行機も戦つてゐるのはロシアの飛行機だし、射上げる高射砲もロシア製なので、日本ミロシヤが戦つてゐるのだと言つてゐる有様だ。蔣介石はあくまで戦をつづけるミ叫んでゐるが、打續く敗戦で、早く日本に降参すればよいと望んでゐるものが多い。」

### 占領後僅一箇月の徐州

#### 活氣と希望に躍る

華支膺懲の聖戰史に輝く一頁を飾る徐州占領後僅に一箇月、此處江蘇の大都市徐州は津浦、隴海の兩鐵路の開

通によつて邦人の目覺ましい大陸進出の恩威並んで施す皇軍の温情に魅つて續々引返して來る支那良民によつて豊富な物品を活動な人の交流が渦巻く新建設の活氣を輝かしき希望が全市に溢れ、之が二箇月前の激戦地かみ疑ふばかりの躍進振りである。戦後徐州に雪崩込んだ邦人も數多く既に開業してゐるものもあり祖國日本の爲盛んに活躍してゐる。一方支那良民達も我宜撫班の活動によつて正義日本の立場を理解し、一日平均一千人近くが續々歸つて既に五萬を突破して居り、早くも桃賣りの支那娘も茶水を賣る子供も怪しげな日本語を話す様に猛訓練中である。各行政機關も次ぎ／＼に設立され復興大都市計畫まで着手され、新建設の希望に躍り、土も焼付く様な盛夏の空に響けに至る所勇士達の「日の丸行進曲」や「露營の唄」の合唱が力強く流れて、躍進途上の徐州は全市を舉げて東洋平和の歌が奏でられて居る。

**租界内の避難民に暖い救助の手**

**皇軍の涙ぐましい努力**

從來上海の共同租界及び佛租界には、約二萬五千名の

避難民が急造された極めて不完全なる「キャンプ」内に雑居してゐるが、彼等の大部分は街路を廢所として生活し連日華氏百度以上に昇る酷暑に際し其苦痛は非常なもので、延ては悪疫の流行を來す虞もあるので、我が軍當局は豫てから之が對策に腐心してゐた。之が爲我が軍當局は先頃之等避難民の中五百名を歸郷せしむべくその輸送準備に着手し、最近漸くその完了も見たのでいよいよ積極的に救済に乗り出すことになつた。之によつて從來の悩みの種も解決されるわけで、避難民は勿論一部外國人は皇軍のこの献身的努力に感謝の涙を流し非常に喜んでゐることである。

**疲れ行く蔣政權**

**支那青年層の共産化に大狼狽**

中國共産黨の執拗なる宣傳工作に依り全國青年層の左傾々向は最近頗る高潮して、今や蔣政權の深刻なる悩みとなつてゐるが、之に對處する意味で、國民黨側では蔣介石を團長として過般組織された三民主義青年團の機能益々活潑ならしむべく同團首腦部の陣容を強化し、陳

誠を書記長に胡宗南を組織部長、黃季陸を宣傳部長、盧作孚を社會服務部長に任命發令した。會務に多忙な陳誠をして三民主義青年團の實際的指導者たらしめたことは、陳誠の有する人氣に頼り離れ行く青年層の國民黨支持を取戻さんとするもので、没落落政權の思想戦に於る敗北を暴露するものである。

**前國民黨宣傳部長邵力子**

**漢口駐在の外國通信員を招いて**

**列國の援助を極力哀訴**

前國民黨宣傳部長、現在國際平和運動支那支部副會長たる邵力子は、パリに於ける世界空襲防止會議を前に、得意の宣傳技術を以て、漢口駐在の外國通信員二十餘名をレセプションに招き、彼等の本國政府及び國民に事情を傳へる様頼み込んだ。

即ち彼は「支那を救へ！平和を救へ！」と云ふスローガンを立て、次の如く列國に呼びかけたのである。

「今後支那に大なる援助を與へ日本を誣責する實際的手段を取られたい。支那は諸外國が支那の試練の秋に際して寄せられた同情、援助を永久に忘れないであらう。友好各國の探る行動は現在に於ては日本の支那に對する攻撃を掣肘するやも知れず、又將來に於ては友好各國の都市、人民に對する同様なる攻撃の機先を制する一助ともなり得やう。我が支那を助ける事は友好國自身を助ける事である。若し支那が敗北するならば文明は潰滅するであらう。

吾人は友好國の援助を要求する何きなれば日支事變は世界の問題を一括するに信する故である。

文明諸國が共通なる問題解決の爲に支那により迅速に援助を與へんか、不要なる犠牲は避けられ支那はより迅速に戦勝を獲得するであらう。」

その援助を求めることかくの如く切々して、而してその言たるやかくの如く僞善たり。



事変日誌



臨時情報部

七月六日

1. 閑院參謀總長官殿下には湖口占領に關し畑軍司令官に祝電を發せらる。
2. 荒鷲の活躍、陸軍は洛陽を空襲、海軍は建甌飛行場並に福州無電塔を爆撃せり。
3. 佛領印度支那所屬武裝警官隊の西沙島不法占據問題に關し我が外務省に於ては帝國政府の見解を明かにし佛大使に要旨の覺書を手交せり。
4. 昆明、緬甸間の公路完成、國民政府與地移轉後の重要對外路として注目され居れり。
5. ソ聯極東方面に於ては最近又もや一流人物の逮捕

七月七日

- 相繼ぎ恐怖の人心更に動搖しつゝ、あり。
1. 支那事變一周年記念日
    - イ、畏くも天皇陛下には首相、陸、海三相を召され優渥なる勅語を賜ふ。聖慮宏遠真に恐懼感激に堪えざる次第なり。
    - ロ、靖國神社に於ては本日の記念日祭を舉行、又北支中支各地に於ても慰靈祭記念祭舉行せられたり。
    - ハ、正午全國民一齊に皇軍の武運長久戰歿將兵への感謝の默禱をなせり。
    - 陸、海荒鷲の猛襲、錢塘江南岸、揚子江彭澤附近、福州警備司令部及び廣東方面
    - 山西南部地區に侵入の敵二十數萬の大撃滅戰展開皇軍の意氣益々旺なり。
    - 上海に瀕發するテロ事件に關し我が軍當局は維新政府の共同、佛租界當局への抗議の結果に深甚なる注意を拂ひ居れり。
  2. 漢口に於ては、國民參政會が開かれ政府各機關の重

慶移轉ミ漢口陥落後の措置を蔣に一任せる模様なり。

七月八日

1. 我が無敵海軍航空部隊は連日に亘り中支の大空を制壓、武穴(湖口上流)に於ては敵三機を撃墜又廣東方面に於ては英德附近に集結中の軍用戎克群を痛烈に爆撃せり。
2. 黄河の濁流早くも大和縣城に達し尙も一日平均十里の速度を以て正陽關に向ひつゝ、あり。
3. 在漢口駐支七國大使館は愈々國府に運命を共にし重慶移轉を決せる模様なり。

七月九日

1. 及川支那方面艦隊司令長官は湖口、黄石港間の第三國艦船の退避方を要望しそれら各機關に通告を發せり。
  2. 訪日中のケソン比島大統領歸國の途に就けり。
- 七月十日
1. 本島に御成の竹田宮大妃殿下には御慰問並に御視察の重大御任務を終へさせられ本日御離臺遊ばさ

れたり。

七月十一日

1. 伏見軍令部總長官殿下には遼江作戰部隊の湖口進出に對し及川支那方面艦隊司令長官に祝電を發せられたり。
2. 海軍航空隊信陽(河南省南部の要衝)飛行場を爆撃又南支に於ては珠江の關門たる虎門要塞を痛撃せり。
3. 皇協民國軍獲嘉(道清線)東北方八里附近に潛入し來りし共產第八路軍五百を撃破せり。
4. 中央部ミ事務打合せの爲滯京中の谷公使上海に向へり。
5. 安慶自治委員會成立發會式を舉行せり。
6. 蔣、九江守備軍に、日本軍迫らば焦土ミせよミの自暴自棄的命令を發し暴兵の狂亂外國財物の破壊擄却等に九江市民は大恐慌を來せり。
7. ソ聯兵運春南方張鼓峰附近に於て突如不法越境せり。

七月十二日

1. 海軍航空隊中南支の敵重要地點を縦横無盡に爆撃せり。

漢口―武昌―廣東―漳州方面  
揚子江益々増水漢口一帶湖水ミ化す。

七月十三日

1. 竹田宮大妃殿下には御恙なく御着京あらせられたり。

2. 我が軍は湖口附近の後方を攪亂せんとする敵部隊を一舉に殲滅、湖口、彭澤間の交通路を完全に確保せり。

3. 不法越境のソ聯兵盛に陣地を構築しつつ、あり。

七月十四日

1. 我が海軍航空隊中南支に活躍、漢口奇襲部隊は敵約十機及び其他の軍事施設に多大の損害を與へたり。

2. 南支沿岸の廣東軍は我が海軍の攻撃（主として軍

需品輸送の戒免群）に大動搖を來し附近住民も避難準備を開始せり。

3. 日本軍進攻の恐怖に脅へる九江の支那軍は愈々同地放棄を決意せるもの、如く逆兵の暴狀に加へ一般民衆の掠奪も盛に行はれ市中は極度の混亂に陥れり。

七月十五日

1. 九江下流獅子山砲臺我が海軍航空隊の猛撃により遂に沈黙す。

2. 海軍航空隊南昌、蕪春、田家鎮の敵陣地を猛爆せり。

3. ソ聯兵の不法越境竝に陣地構築事件に關し帝國政府は嚴重抗議を發せり。

5. 政府は聖戰目的の達成竝に長期戰態勢整備の必要に鑑み紀元二千六百年記念萬國博覽會の延期及びオリンピック東京大會の返上を決せり。

(以下次號)

昭和十三年七月三十日印刷  
昭和十三年八月一日發行 (月三回發行)

### 臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町二丁目十五番地

印刷人 加藤 豊吉

臺北市京町二丁目四十三番地

印刷所 小塚本店印刷工場